



日本海

日々の様子は学校
ホームページから！



「藤塚小ブログ」は連日更新中！

令和6年度もどうぞよろしくお願いいたします

校長 山田 耕世

令和6年度がスタートしました。ご存じのとおり、藤塚小学校は、令和6年度末に閉校し、令和7年度初に紫雲寺小学校と米子小学校と統合します。

藤塚小学校は、明治7年（1874年）6月15日に、公立第8中学区第15番小学附属藤塚校という名前で、不動院の一部を借りて開校したそうです。その時の児童数は約40名、教師は2名であったそうです。その後、様々な方々のご支援を受けながら、多くの卒業生を輩出してきました。ちなみに今年度の児童数は85名、教職員は約20名です。

藤塚小学校としては、残念ながら今年度が最後の年になるわけですが、「違いを認め合い、共に生きようとする子ども」「藤塚小学校で過ごす日々に充実感を感じられる子ども」といった姿を今年度、特に目指していきたいと考えております。

そのためにも、昨年度に引き続き、「3つのキラリ（自分自身のキラリ、友達のキラリ、学校や地域のキラリ）」を見付けていく活動や場をとおしながら、人と人がかかわる場面を大切にしていきたいと考えております。

子どもたちが生きるこれからの社会では、考えや思いが異なる人とも協力し合っていくことが一層強く求められる社会とされています。自分と違うからといって排除したり差別したりするのではなく、違いを認め合いながら創り出していく力が求められています。そのために、日々の教育活動では、互いの違いを認め合っていく場面、互いの違いから考えが深まる場面を大切にしていきます。

また、藤塚小学校としての最後の1年間に子どもたちが充実感を感じられるように、地域の皆様と行う藤塚浜大運動会や、学年をこえた異学年での教育活動などを創意工夫したものにしていきたいと強く考えております。その際、子どもたちの様子を学校のホームページの中の「藤塚小学校ブログ」や学校便りなどで積極的に発信していきます。どうぞお楽しみにしていただきたいと思えます。

さらに、子どもたちは様々な人からの声掛けによって大きく成長していくと考えます。

保護者の皆様からの声掛けはもちろん、登下校時のれんぎょうパトロール隊の皆様をはじめとした地域の皆様からの声掛けがとても重要と考えます。子どもたちのよい姿や頑張っている姿を目にしたら、子どもたちに伝えていただくとありがたいです。

今年度も大変お世話になります。どうか藤塚小学校としての最後の1年間で、どの子どもにとってもかけがえのない1年間となるように、お力を貸していただきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。



新1年生の入学をお祝いして演奏する
第45代目藤塚浜大漁太鼓のメンバー（4～6年生）